

温泉の利用状況について

泉 質： ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩温泉
(低張性 中性 温泉)

温泉成分の特徴： 炭酸水素ナトリウムを多く含み、入浴すると肌が
つるつるすべすべするお湯です。

(分析場所：源泉)

源泉の温度及び湧出量： 41.3℃ ー ーリットル/分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり(直近成分分析年月日：R1.6.24)

浴槽の種類とその状況： 大浴場、露天風呂、薬湯、家族湯
(全て温泉水を使用)

循環、かけ流しの状況： 循環、かけ流し併用式

(温泉資源の保護及び浴槽内の汚れを除去するため、浴槽に
新しい温泉を注入しながら、浴槽水を回収し、ろ過、加温して
再利用しています。オーバーフロー水は再利用しません。)

加水の状況： なし

加温の状況： なし

新湯との入れ替わり状況： ー

入浴剤等の添加： 入浴者の健康増進のため、薬草湯にひのきのチップを
入れています。

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況： 自社で作成している「温泉衛生管理マニュアル」に
基づき、毎日換水、清掃しています。

浴槽水の消毒状況： 衛生管理を確実にを行うため、塩素系薬剤を投入し、
浴槽内の塩素濃度を定期的に見ながら、細菌の
増殖を防いでいます。

水質検査の頻度： 日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の
防止状況の確認を行うため、年2回実施しています。

※水質検査証は別に表示

令和1年 6月24日

施設名 ゆのまえ温泉 湯楽里

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会